

# 平成二十三年度 昇段試験実施要項 (毛筆部)

一、試験応募メ切 平成二十四年二月十六日(木) 必着

二、試験部門 ○毛筆部(硬筆部は、毎年十月に実施)

三、受験資格 ○毛筆部で、漢字、かな、創作部門のいずれかが一級以上で平成二十三年三月号から二十三年十二月号まで、十回の課題出品のうち五回以上出品した人。(ただし、一級に昇級した後の出品回数は問わない。)

四、受験料 三、〇〇〇円 師範受験者のみ五、〇〇〇円

○受験料は平成二十四年三月二十七日(火)に、機関誌代金を振替えている御指定の口座より振替えます。

五、段位合格者 ○本試験に合格したものは、現在の段・級を一段位昇段する。(ただし、初段受験者で、二級以下の部門がある場合でも一部門で合格すれば全部門初段となる)

○六段と師範の間に準師範を設けるが、師範は六段からも受験できる。

○師範合格者には、当協会師範認定書(額つき)を交付する。(本人実費負担)

○各段合格者には認定書を交付する。(平成二十四年四月中旬頃五月号に同封予定)

○「成績票」は四月号送本時に同封し返却。合格者名簿は四月号誌上にて発表します。

六、出品方法(よく読んで出品のこと)

◆初段受験者⇨課題①②③④⑤の中から、三課題を選択、および⑥の計四点。

◆二段受験者⇨①②③④から二課題を選択、および⑤⑥の計四点。

◆三段⇨四段受験者⇨①②③から一課題を選択、および④⑤⑥計四点。

◆五段・六段受験者⇨①②③から一課題を選択、および④⑤⑥⑦計五点。但し⑦は漢詩句か俳句のどちらかを選択し漢詩句を選ぶ場合は①②③で書いた書体以外を選択すること。

◆総ての受験者は、受験票を作品の一番上に重ねてクリップ留めのこと。

◆師範受験者は⑥を初段⇨六段と同じ課題で事前に制作し、受験当日(二月十八日土)に出品できる状態にして必ず御持参下さい。

★試験当日の課題作品とともに提出していただきます。  
★師範試験受験は左の実施要項のとおり、受験の申し込みをして下さい。

### ※(注意)

1、師範受験者のみの支部も受験者名簿は二月十六日(木)必着で送付して下さい。

2、作品は個人別に初段⇨四段は四点、五段・六段は五点と受験票を角O(287×382mm)の封筒に入れ、昇段試験出品送付票を封筒表右上にのりづけすること。(封筒は右の大きさに自分で作ったものでもよい。)

3、月例作品と混同しないよう別の封筒に入れ、その表に昇段試験応募と朱書きすること。同一支部で二人以上出品者がある時は一括して包装し、所定の受験者名簿を添えること。

4、作品は本協会事務所(左記へ)送付すること。

### 送り先

〒520-0853 大津市蜷谷一三三七九〇二 リヴラン大津石山902号室  
滋賀県書道協会 毛筆昇段試験係 電話 〇九〇一八八八八九六三四

六段受験者	五段受験者	四段受験者	三段受験者	二段受験者	初段受験者	
図版1より連続する文字を タテに1行または2行に臨書する。(字数自由)				図版1より連続する2字を タテに臨書する。		篆書・隸書部
画 仙 紙 半 切 (タテ136cm×ヨコ35cm) タテに使用				画仙紙半切½(タテ68cm×ヨコ35cm)タテに使用		用紙
図版2より連続箇所をタテに臨書する。				図版2より連続する箇所を タテに臨書する。		楷書部
画 仙 紙 半 切 (タテ136cm×ヨコ35cm) タテに使用				画仙紙半切½(タテ68cm×ヨコ35cm)タテに使用		用紙
図版3を臨書する。 (文字数・行数自由。ただし連続する箇所とする。)				図版3より連続する 2～3字をタテに臨書する。		行書・草書部
画 仙 紙 半 切 (タテ136cm×ヨコ35cm) タテに使用				画仙紙半切½(タテ68cm×ヨコ35cm)タテに使用		用紙
図版4を臨書する。 ・画仙紙半切タテに書く。		図版4を臨書する。 ・半紙タテ中央に書く。 または、画仙紙半切タテに書く。		図版4より半紙タテに2行 臨書する。		かな部
画仙紙半切(タテ136cm×ヨコ35cm)タテに使用		半紙か画仙紙半切(タテ136cm×ヨコ35cm)タテに使用		半紙タテに使用		用紙
☆行数や配字は各自工夫すること ※文面の個人名、団体名は架空のものです。		平成二十四年二月十六日 近畿情報局広報活動研究会 会長 久保田光雲		優秀賞 賞 状 氏名(受験者名) あなたは本会主催インターネット研究大会情報処理部門において優秀な成績をおさめられましたのでこれを賞します。		実用書部
B 4 判 (25.7cm×36.4cm) 白紙、紙質自由・横長に使用しタテ書きすること						用紙
※新字体でも旧字体にしてもよい。 ※題名・作者名は書かなくてもよい。 ※ふりがなは書かないこと。 (※師範受験者も含む)		利根の松原 萩原 朔太郎 日曜日の昼 わが愉快なる諧謔は草にあふれたり。 芽はまだ萌えざれども 少年の情緒は赤く木の間を焼き友等みな異性のあたたかき腕をおもへるなり。 ああこの追憶の古き林にきてひとり蒼天の高きに眺め入らんとす いづこぞ憂愁ににたるものきてひそかにわれの背中を触れてゆく日かな。 いま風景は秋遅くすでに枯れたり われは焼石を口にあててしきりにこの熱する唾のこどものをのまんとす。		次の文面の賞状を配字よく書く。 次の[A]・B・Cいずれか一点を書く。 [A] 左の詩の中から連続する漢字一〜三字を選択大書する。 [B] 左の詩を書く。(全文書けなくてもよい。) [C] [A]・[B]組み合わせさせて書く。		創作部 I
画仙紙半切 (タテ切り、ヨコ切り自由) 以上、全紙 (136cm×70cm) 以内 (タテ・ヨコ自由)						用紙
(漢字と仮名の交換可。作者名は入れなくても可) 尾上紫舟 静かなる日や たまたまあひぬ わが胸と うへなる雲と ④遠き樹の		①華如雪 ②一陽來復 ③國破山河在 城春草木深		次の課題の内一つを選び画仙紙縦半切(④のみ半紙も可)に書きなさい。 ただし、①〜③は漢字部で選択しなかつた部門の書体で書くこと。 ④は上代仮名をベースとした創作作品とする。		創作部 II
かな = 半紙または半切 (タテ136cm×ヨコ35cm)		漢字 = 画仙紙半切 (タテ136cm×ヨコ35cm)				用紙

# 平成23年度 毛筆部 師範試験実施要項

試験日時 平成24年2月18日(土) 受付 9:15～9:30  
説明 9:30～9:45  
試験 10:00～12:30  
試験 13:30～16:00

場所 ①会場 のぞみ荘 大津市におの浜4丁目3-26 TEL 077-522-2868  
②会場 長浜文化芸術会館 長浜市大島町37番地 TEL 0749-63-7400

師範受験希望者は、1月16日～1月23日迄に（当日消印有効）下記の事項を記入の上、郵便葉書でお申し込み下さい。受験申し込みは郵便葉書でのみ受付いたします。メールや手紙では受付できませんのでご注意ください。受付後、当方より受験番号、受験上の注意等を書いた受験受付書を2月6日迄に必着で返送します。尚、2月6日迄に受験票が届かない時はお手数ですがご一報下さい。

試験問題は当日に配布しますので過去に出題された問題と、この一年書冊で勉強した事を幅広く練習しておいて下さい。なお創作部Ⅰは、初段～6段までの受験者と同じ課題を予め制作した上、試験当日持参して頂く事になっています。試験当日は、新たに創作Ⅱを出題いたします。

## 記

1. 氏名
2. 住所・電話番号
3. 支部番号
4. 受験希望会場（①大津・②長浜の何れかを明記。）

受験会場は人数の都合により、ご希望に添えない場合がある事をご承知おき下さい。

送り先 〒525-0067 草津市新浜町1001番地 中西 長雄 滋賀県書道協会毛筆昇段試験係へ

持ち物 受験票、受験受付書、予め制作した創作部Ⅰ作品、以下の書道用具一式

## 書道用具

筆	紙は漢字用半切
墨（液体墨でも可）	かな用半紙
下敷（全紙又は半切用）・ノリ	創作Ⅱ半切（漢字用、かな用）
古新聞（場所の関係で書いた作品を重ねて置くため）	賞状用用紙（B4白紙）
クリップ・鉛筆・角0（287×382）の封筒等その場で仕上げて提出する事を考えて、その他必要な物をご持参下さい。	

受験資格は受験票が送付され、23年3月号から23年12月号の間に5回以上出品された方。

お問い合わせは 滋賀県書道協会昇段試験担当 中西 長雄  
TEL 090-4648-2601